

令和 6 年 6 月 24 日現在

機関番号：17501

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化(B））

研究期間：2018～2023

課題番号：18KK0266

研究課題名（和文）ピロリ菌の病原性と薬剤耐性を考慮したテーラーメイド治療の確立に関する国際共同研究

研究課題名（英文）International collaborative studies to establish tailored therapy based on the virulence and antibiotics resistance of *H. pylori*

研究代表者

山岡 吉生（Yoshio, Yamaoka）

大分大学・医学部・教授

研究者番号：00544248

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 13,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、胃癌多発国のモンゴル、ブータン、ベトナムを対象に、現地の共同研究者と協力して次世代シーケンサーを用いたピロリ菌の全ゲノム解析を行い、胃癌誘発因子および抗菌薬耐性関連遺伝子の変異・多型を解析した。モンゴルにおけるピロリ菌の特異性が明らかになり、ゲノムワイド関連解析では特定の遺伝子多型が疾患との関連を示すことを示した。また、ピロリ菌のバイオフィーム形成に関与する遺伝子変異の解明や、抗菌薬耐性に関与する新規遺伝子変異の特定を行った。これにより、抗菌薬耐性を引き起こす遺伝子変異のメカニズムが明らかになり、将来的には非侵襲的かつ迅速な病原因子・薬剤耐性検査方法の開発が期待される。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の学術的意義は、胃癌多発国であるモンゴル、ブータン、ベトナムを対象に次世代シーケンサー（NGS）を用いたピロリ菌の全ゲノム解析を通じて、胃癌誘発因子および抗菌薬耐性関連遺伝子の変異・多型を解明したことにある。社会的意義としては、胃癌の早期発見・予防および適切な治療法の選択が可能になることが挙げられる。これにより、開発途上国における胃癌発症率の減少が期待され、非侵襲的かつ迅速な診断法の開発によって、医療アクセスの改善が図られる。また、若手研究者の育成や現地の医療体制強化に寄与し、グローバルな健康問題の解決に向けた国際協力のモデルケースとなる。

研究成果の概要（英文）：In this study, we conducted a whole-genome analysis of *H. pylori* using next-generation sequencing in Mongolia, Bhutan, and Vietnam, countries with a high incidence of gastric cancer, in collaboration with local collaborators, and analyzed mutations and polymorphisms in genes related to gastric cancer-inducing factors and antimicrobial resistance. The specificity of *H. pylori* in Mongolia was revealed, and genome-wide association analysis showed that specific gene polymorphisms were associated with the disease. In addition, genetic mutations involved in *H. pylori* biofilm formation were elucidated, and novel genetic mutations involved in antimicrobial resistance were identified. This clarified the mechanism of genetic mutations causing antimicrobial resistance, and is expected to lead to the development of non-invasive and rapid methods for testing for virulence factors and drug resistance in the future.

研究分野：消化管感染症

キーワード：ヘリコバクター・ピロリ 国際共同研究 抗菌薬耐性 病原性 テーラーメイド 遺伝子解析

様式 C-19、F-19-1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

ヘリコバクター・ピロリ(ピロリ菌)は、世界中の約半分の人が感染しているが、胃癌をはじめとする多くの病気を引き起こす原因となる。特に**アジアでは、胃癌の発症率が他の地域に比べて非常に高い**。私たちの研究チームは、この地域差の一因として、ピロリ菌の病原因子である CagA の遺伝子構造の違いが関与していることを報告した。また、新しい病原因子である OipA や DupA を発見し、命名した。これらの成果は、長年にわたる国際共同研究の成果であり、私たちは 14 か国で内視鏡検査を実施している。さらに、**国内外から収集したピロリ菌の分離株を含めると、私たちが保有する菌株は 8,000 株を超え、これは世界最大規模である**。

抗菌薬耐性 (AMR) 菌の蔓延は、国際社会にとって大きな脅威であるが、ピロリ菌の AMR 検査には専門的な内視鏡検査と細菌培養検査が必要である。これは**医療設備が不足している開発途上国にとって大きな負担**となる。そのため、これらの国では AMR 検査を行わずに治療が進められており、AMR の出現と胃癌発症のリスクを高めている。実際、2017 年に WHO はピロリ菌感染症を優先的に新しい抗菌薬が必要な感染症としてリストに挙げた。

日本では、世界で初めて「すべてのピロリ菌感染胃炎患者」に対する除菌治療が保険適用となった。この「日本式」胃癌撲滅対策は欧米諸国から称賛されているが、開発途上国ではすべての感染者に除菌治療を行うための十分な医療保険制度が整っていない。重篤な疾患になるのは感染者のごく一部であることを考慮すると、開発途上国では優先的に除菌する対象を選定するなどの対策が必要である。内視鏡検査を必要としない迅速かつ低侵襲な病原因子・薬剤耐性検査方法の開発が、胃癌撲滅対策を経済的に効率化するための課題である。

以上の目的のために、私たちは以下の研究課題を掲げる。

- (1) 除菌を行う人を選択するために、胃癌を引き起こすピロリ菌の原因を解明できないか？
- (2) 適切な除菌法を選択するために、抗菌薬耐性を引き起こす遺伝子変異を明らかにできないか？
- (3) 内視鏡検査を必要としない迅速かつ低侵襲な病原因子・AMR 検査方法を開発できないか？

2. 研究の目的

胃癌が多発するアジアの開発途上国であるモンゴル、ブータン、ベトナムに焦点を当てる。現地の共同研究者と協力し、次世代シーケンサー (NGS) を用いてピロリ菌の全ゲノム解析を行い、除菌が必要な人や適切な除菌法を選ぶために有用な未知の病原因子や薬剤耐性関連遺伝子の変異・多型を模索する。研究の進展により、これら3か国以外の開発途上国にも範囲を広げる。最終的には、海外医療施設での実装を見据え、携帯型で安価な新規遺伝子解読技術 (ナノポア) を用いた、従来の内視鏡検査および細菌培養を必要としない迅速かつ非侵襲な病原因子および薬剤耐性関連遺伝子の検出方法の開発に取り組む。この事業により、有効な除菌治療法の選択や胃癌発症率の減少など、世界の医学・予防医学の進歩に貢献することを目指している。

3. 研究の方法

(1) 除菌対象者の効率的な選択および胃癌を誘導する菌側因子の解明

胃癌由来株に多く見られる遺伝子多型を、十二指腸潰瘍由来株の遺伝子多型と比較対照して、網羅的に明らかにする。NGSで全ゲノムを解読し、ゲノムワイド関連解析 (GWAS) を行う。全ゲノム解析により、既知の病原因子以外で胃癌と有意に関連している因子を明らかにする。胃癌関連遺伝子多型に対応する遺伝子候補機能については、遺伝子変異株を作成して実験的に確認する。

(2) 抗菌薬耐性を引き起こす遺伝子変異の解明

NGS を用いてゲノムを解読し、抗菌薬耐性関連遺伝子変異を網羅的に明らかにする。候補遺伝子変異が抗菌薬耐性に与える影響を、変異部位のトランスフォーメーションによって確認する。

(3) 内視鏡を必要としない迅速かつ低侵襲な病原因子・薬剤耐性検査法の開発・活用

(1) および(2) で得られた候補遺伝子変異・多型の有無を迅速に検出する、内視鏡を用いない検査方法を確立する。将来的には、現地の研究室にて、胃液などのサンプルから DNA を抽出し、候補遺伝子変異・多型の有無を確認できるようにする。

4. 研究成果

当初は 2018 年から 4 年間の計画であったが、新型コロナウイルスの世界的な蔓延により海外渡航が制限されたため、研究期間を 2 年間延長した。各研究テーマの主要な成果と、若手研究者育成や社会への影響について報告する。図表は、文献にあるものは省略し、未発表のものを示す。

(1) 除菌対象者の効率的な選択および胃癌を誘導する菌側因子の解明

ピロリ菌の 4 型分泌機構の網羅的解析 文献 1 参照

ピロリ菌には、*cag* pathogenicity island (*cag* PAI: CagA を含む) に加えて *tfs3*, *tfs4* などの 4 型分泌機構が知られているが、特に *tfs3* と *tfs4* の病原性は十分に解析されていない。ベトナム人ピロリ菌患者 (十二指腸潰瘍 46 例、非噴門部胃癌 51 例、慢性胃炎 39 例) の全塩基配

列を NGS で決定した。その結果、ほとんどのピロリ菌 (94%) が完全な (遺伝子欠損などがなく、機能性と考えられる) *cag* PAI を持ち、一方、完全な *tfs3* と *tfs4* はそれぞれ 18.3% と 17.6% の株で認められた。十二指腸潰瘍患者における完全な *tfs3* を持つピロリ菌株は、非噴門部胃癌患者に比べて有意に高かった (30.4% vs 11.7%, $P < 0.05$)。また、完全な *tfs3* および *cag* PAI を両方とも持つ菌株も、十二指腸潰瘍患者において他疾患よりも有意に高く、ベトナムにおいて *tfs3* の完全クラスターが十二指腸潰瘍のマーカーとなる可能性が示唆された。

文献 1 : Phuc BH (ベトナム人大学院生), Tuan VP (ベトナム人大学院生), 他 9 名, Yamaoka Y. *Helicobacter pylori* type 4 secretion systems as gastroduodenal disease markers. *Sci Rep.* 2021;11(1):4584.

モンゴルのピロリ菌の特異性 文献2-4参照

モンゴルの胃癌発症率と死亡率は世界で最も高く、東アジアに属するため、モンゴルのピロリ菌は東アジア型と考えていた。しかし、血清抗 *CagA* 抗体および東アジア型 *CagA* 特異的抗体を用いた検討では、ピロリ菌の *CagA* 陽性率は、癌患者 100% に対して非癌患者 81% ($P = 0.02$) であったが、*CagA* の大部分は非東アジア型であった (癌患者の 95%、非癌患者の 94.1%)。

文献 2 : Gantuya B (モンゴル人大学院生), 他 9 名, Yamaoka Y. New observations regarding *Helicobacter pylori* and gastric cancer in Mongolia. *Helicobacter.* 2018;23(4): e12491. そこで、モンゴル各地 (5 か所) で内視鏡検査を行い、ピロリ菌を培養して *cagA* 遺伝子の繰り返し配列に基づき東アジア型または欧米型を決定した。合計 368 人の患者 (胃炎 341 人、消化性潰瘍 10 人、胃癌 17 人) を検討し、62 株 (16.8%) が *cagA* 陰性、306 株 (83.1%) が *cagA* 陽性 (欧米型 293 株、東アジア型 12 株、混合型 1 株) であった。*cagA* 陰性株はすべて胃炎患者から分離され、*cagA* の存在が疾患と関連する可能性が示唆されたが、すべての胃癌症例は欧米型 *cagA* を示し、東アジア型が特に毒性が強いという従来からの定説は否定された。

文献 3 : Tserentogtokh T, Gantuya B (モンゴル人大学院生), 他 4 名, Azzaya D (モンゴル人大学院生), Davaadorj D, Uchida T, Matsuhisa T, Yamaoka Y. Western-Type *H. pylori* CagA are the Most Frequent Type in Mongolian Patients. *Cancers (Basel).* 2019 ;11(5):725.

さらに、モンゴルのピロリ菌 158 株 (胃癌 15 株、非胃癌 143 株) を対象に NGS を施行、外膜タンパク質 (OMP) 遺伝子、4 型分泌機構関連遺伝子クラスター、および報告されている病原性遺伝子候補などを含む 274 のピロリ菌の病原性関連遺伝子セットの遺伝子多型を検討した。その結果、13 遺伝子が疾患転帰により多型を示すことがわかった。特に鉄を制御する OMP 遺伝子変異が疾患と関連しており、モンゴルのピロリ菌は胃癌リスクが高いサブグループ (Sg1) と低いサブグループ (Sg2) に大別された。

文献 4 : Saruuljavkhlan B (モンゴル人大学院生), Alfaray RI, Oyuntsetseg K, Gantuya B (モンゴル人大学院生), Khangai A (モンゴル人大学院生), 他 3 名, Azzaya D (モンゴル人大学院生), Davaadorj D, Yamaoka Y. Study of *Helicobacter pylori* Isolated from a High-Gastric-Cancer-Risk Population: Unveiling the Comprehensive Analysis of Virulence-Associated Genes including Secretion Systems, and Genome-Wide Association Study. *Cancers (Basel).* 2023;15(18):4528.

ピロリ菌のセリンプロテアーゼ HtrA の SNP 解析 文献5参照

ドイツのグループとの共同研究で、世界各国から集められた 1,043 株のピロリ菌ゲノムを解析し、胃癌と関連するセリンプロテアーゼ HtrA の一塩基多型 (SNP: セリン/ロイシン 171 位) を特定した。大分大学のグループがベトナム人のピロリ菌遺伝子解析を行い、ドイツのグループが機能解析を行った結果、171S から 171L への変異が HtrA の三量体形成を誘発し、オクルジンと E-カドヘリンのタンパク質分解を増強することが明らかになった。また、171L 型 HtrA は上皮に損傷を与え、上皮細胞への *CagA* の注入を促進し、NF- κ B を介した炎症と細胞増殖を増加させ、宿主 DNA の二本鎖切断を促進させた。これにより、171S/L HtrA 変異がピロリ菌感染におけるリスク予測のバイオマーカーとなる可能性が示された。

文献 5 : Sharafutdinov I, 他 6 名, Tuan VP (ベトナム人大学院生), Fauzia KA, Sticht H, Yamaoka Y., Marshall BJ, Backert S. A single-nucleotide polymorphism in *Helicobacter pylori* promotes gastric cancer development. *Cell Host Microbe.* 2023;31(8):1345-1358.e6.

GWAS 解析による胃癌に特徴的な新規病原因子変異 文献6参照

ピロリ菌に関する GWAS は、欧米の株で行われた研究が 1 つあるだけで、胃癌が多い東アジアではまだ検討されていない。そこで、私たちは東アジア由来のピロリ菌株 (主に日本とベトナムの症例) を使い、胃癌患者 125 例、十二指腸潰瘍患者 115 例を対象に GWAS を行った。その結果、11 の SNPs (8 つのアミノ酸変化) と 3 つの DNA モチーフを同定し、これらの組み合わせによって効果的な疾患識別が可能となった。これらの SNPs は、リガンド結合ポケットの電荷変化、サブユニットの相互作用の変化、DNA メチル化のモードスイッチなど、分子メカニズムに関する多くの情報を提供した。また、3 つの新しい病原性因子やオンコプロテイン候補も同定した。

文献 6 : Tuan VP (ベトナム人大学院生), Yahara K, Dung HDQ, Binh TT (ベトナム人大学院生), 他 4 名, Trang TTH (ベトナム人大学院生), Phuc BH (ベトナム人大学院生), 他 17 名, Yamaoka Y. Genome-wide association study of gastric cancer- and duodenal ulcer-

derived *Helicobacter pylori* strains reveals discriminatory genetic variations and novel oncoprotein candidates. *Microb Genom.* 2021;7(11):000680.

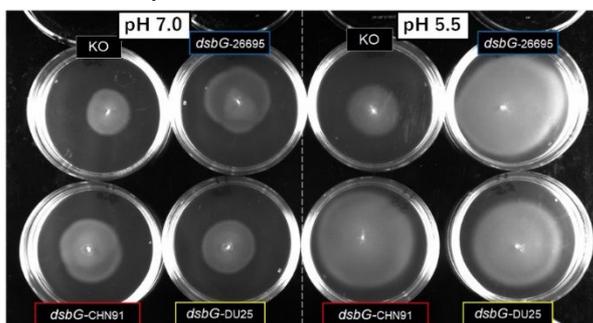


図1) 中性及び酸性下における*dsbG*遺伝子破壊株 (KO) および、ベトナム胃癌株と十二指腸潰瘍株由来*dsbG*相補株の遊走テスト 0.45%寒天平板培地にて培養9日目

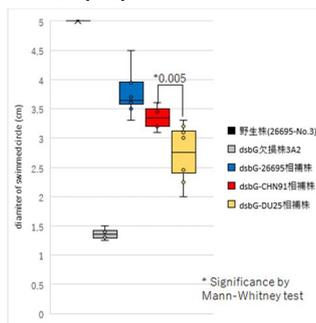


図2) 酸性軟寒天培地での遊走能

次に、私たちは、11 の SNPs の中で特に有意差がみられた細胞膜近傍のタンパク質の S-S 結合形成に与する *dsbG* (*hp0231*) に焦点を当てた。遺伝的に近いペアのベトナム人の胃癌株 CHN91

と十二指腸潰瘍株 DU25 を用いて、*dsbG* 遺伝子の疾患特異的 SNP と細菌の遊走能力との関係調べた。まず、親株、*dsbG* 遺伝子欠損株、*dsbG*-CHN91 相補株、*dsbG*-DU25 相補株を用いて、軟寒天培地で遊走試験を行った。その結果、*dsbG* 遺伝子欠損株は運動性が低下したが、*dsbG*-CHN91 および *dsbG*-DU25 相補株は運動性が回復した。次に、中性および酸性の軟寒天培地で遊走試験を行ったところ、pH 5.5 では *dsbG*-CHN91 相補株は *dsbG*-DU25 相補株よりも遊走能が高いことがわかった (図 1, 2)。これは、胃癌株由来の *dsbG* 遺伝子が酸性条件下での高い遊走能を持ち、胃癌株に特徴的な性質をもたらしている可能性を示している (未発表データ)。

(2) 抗菌薬耐性を引き起こす遺伝子変異の解明

ピロリ菌バイオフィーム形成の網羅的解析 文献7参照

バイオフィームは抗生物質から細菌を守るだけでなく、ピロリ菌の除菌治療の効果も低下させる。そこで、ピロリ菌のバイオフィーム形成に関連する SNPs を研究した。まず、バイオフィーム量をクリスタルバイオレットアッセイで測定し、高バイオフィーム形成株と低バイオフィーム形成株に分類した。次に、NGS により全ゲノムデータを取得し、バイオフィーム形成に関連する可能性のある遺伝子を抽出して解析した。その結果、以下の遺伝子の SNPs がバイオフィーム形成と有意に関連していることが分かった ($P < 0.05$)。

alpA, *alpB*, *cagE*, *cgt*, *csd4*, *csd5*, *futB*, *gluP*, *homD*, *murF*

特に、*alpB* 遺伝子の N156K、G160S、A223V 変異を持つ株はバイオフィーム形成率が高いことが明らかになった。

文献7: Fauzia KA, Aftab H, Miftahussurur M, Waskito LA, Tuan VP (ベトナム人大学院生), 他6名, Yamaoka Y. Genetic determinants of Biofilm formation of *Helicobacter pylori* using whole-genome sequencing. *BMC Microbiol.* 2023;23(1):159.

抗菌薬耐性にかかわる新規遺伝子変異解析 文献8-12参照

私たちは以前の研究で、ベトナムにおける抗菌薬耐性に関わる新しい遺伝子変異を報告した。本研究開発では、モンゴル、ミャンマー、カンボジア、そしてコンゴ共和国のピロリ菌についても、新しい遺伝子変異を報告した。この研究には、主にベトナム人大学院生が参加した。

文献8: Azzaya D (モンゴル人大学院生), Gantuya B (モンゴル人大学院生), 他4名, Yamaoka Y. High Antibiotic Resistance of *Helicobacter pylori* and Its Associated Novel Gene Mutations among the Mongolian Population. *Microorganisms.* 2020;8(7):1062.

文献9: Khangai A (モンゴル人大学院生), Saruuljavkhlan B (モンゴル人大学院生), Azzaya D (モンゴル人大学院生), Gantuya B (モンゴル人大学院生), 他3名, Yamaoka Y. Exploring Alternative Treatment Choices for Multidrug-Resistant Clinical Strains of *Helicobacter pylori* in Mongolia. *Microorganisms.* 2023;11(12):2852.

文献10: Subsomwong P, 他7名, Tuan VP (ベトナム人大学院生), 他2名, Yamaoka Y. Next-Generation Sequencing-Based Study of *Helicobacter pylori* Isolates from Myanmar and Their Susceptibility to Antibiotics. *Microorganisms.* 2022;10(1):196.

文献11: Tuan VP (ベトナム人大学院生), 他5名, Binh TT (ベトナム人大学院生), 他6名, Phuc BH (ベトナム人大学院生), 他3名, Trang TTH (ベトナム人大学院生), Yamaoka Y. A Next-Generation Sequencing-Based Approach to Identify Genetic Determinants of Antibiotic Resistance in Cambodian *H. pylori* Clinical Isolates. *J Clin Med.* 2019;8(6):858.

文献12: Tshibangu-Kabamba E, Ngoma-Kisoko PJ, Tuan VP (ベトナム人大学院生), 他8名, Yamaoka Y. Next-Generation Sequencing of the Whole Bacterial Genome for Tracking Molecular Insight into the Broad-Spectrum Antimicrobial Resistance of *Helicobacter pylori* Clinical Isolates from the Democratic Republic of Congo. *Microorganisms.* 2020;8(6):887.

さらに、私たちの保有菌で抗菌薬耐性のデータのある菌および遺伝子バンクに情報のある960株の中で、東アジア型の675菌に対して、GWASを用いて解析を行った (ブータン人の232株、ベトナム人の63株、日本人の42株を含む)。その結果、クラリスロマイシンの変異はほとんどが23S rRNA

にあり、レボフロキサシンの変異は、主に *gyrA* にある点は既報の通りであったが、レボフロキサシンの変異は、その他の特定の部位にも候補遺伝子変異が見つかった。なお、アモキシシリンやメトロニダゾールでは、変異を起こす遺伝子変異候補が多数見つかり、今後さらに絞り込む必要がある（未発表データ：図3，4）。



図3 クラリスロマイシン 図4 レボフロキサシン に関連する変異を示すManhattan Plot

候補遺伝子変異が抗菌薬耐性に与える影響の確認

ペニシリン結合タンパク質 1A (PBP1A) のいくつかの変異がアモキシシリン (AMX) 耐性を引き起こすと報告されているが、実験的に検討されたものは少ない。私たちは、非常に高い AMX 耐性を示すピロリ菌 KIN76 株にある 4 つの PBP1A 変異 (T558S、N562H、T593A、および G595S) に注目した。まず、KIN76 株の *pbp1* 遺伝子に 2 つまたは 4 つの変異を持つ DNA を用いて、レシピエント株 26695 に形質転換し、形質転換体のゲノムを解析し、抗菌薬感受性試験を行った。その結果、AMX MIC を相乗的に 16 倍に上昇させるには、単一の変異ではなく、2~4 つの PBP1A 変異 (例えば T55 8S と N562H、または T593A と G595S) が必要であることが分かった。次に、これらの株を用いて PBP1A の AMX 結合アッセイを行い、蛍光ペニシリンアナログであるボシリンを使用して結合を可視化した。4 つの変異を持つ株は、すべて PBP1A の AMX に対する親和性が野生型株よりも低下していた。タンパク質の構造モデリングによって、これらのアミノ酸置換が PBP1A の機能を修飾することが示された。以上、私たちは、新しい相乗的な AMX 耐性機構を明らかにした (mSphere accepted)。

(3) 内視鏡を必要としない迅速かつ低侵襲な病原因子・薬剤耐性検査法の開発・活用 文献13参照

私たちは、ベトナムにおいて胃癌患者と十二指腸潰瘍患者からそれぞれ分離されたピロリ菌の CHC155 株と VN1291 株に対して、ナノポア (ロングリード) とイルミナ MiSeq (ショートリード) を組み合わせたハイブリッドアセンブリー法を使って完全ゲノム配列を取得した。これにより、PacBio のような高額な機器を使わずに、安価で完全なゲノム配列を解析できることがわかった。
文献 13: Phuc BH (ベトナム人大学院生), Tuan VP (ベトナム人大学院生), Binh TT (ベトナム人大学院生), 他 10 名, Yamaoka Y. Comparative genomics of two Vietnamese *Helicobacter pylori* strains, CHC155 from a non-cardia gastric cancer patient and VN1291 from a duodenal ulcer patient. *Sci Rep.* 2023;13(1):8869.

実際に、この方法を使って、ブータン、ベトナム、モンゴル (西部カザフ族の居住地) でもナノポアによる解析を行うことができた。迅速かつ低侵襲な薬剤耐性検査方法の開発に関しては、民間企業との共同研究を始めている。

若手研究者の育成 モンゴル、ベトナム、ブータンからの国費留学生 (大学院生)

- 2019年 3月モンゴル人 (Boldbaatar Gantuya) 卒業、9月ベトナム人 (Vo Tuan Phuoc) 卒業、10月モンゴル人 (Batsaikhansaruul Javkhlan) 入学 (2023年9月卒業、現在特任助教)
- 2020年 3月モンゴル人 (Azzaya Dashdorj) 卒業、10月モンゴル人 (Khangai Ayush) 入学 (現在4年生)
- 2021年 9月ベトナム人 (Bui Hoang Phuc) 卒業、
- 2022年 5月ブータン人 (Passang Lhamo Sherpa) 入学 (現在3年生)、10月モンゴル人 (Namsrai Renchinsengee) 入学 (現在3年生)
- 2023年 10月ベトナム人 (Pham Minh Ngok Quang) 入学 (現在1年生)
- 2024年 10月ベトナム人 (Han Thuy Minh) 入学予定

新たな大型資金獲得

ブータンに関して、AMED/JICAによる地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (医療分野国際科学技術共同研究開発推進事業) (SATREPS [AMED]) および 地球規模保健課題解決推進のための研究事業 慢性疾患国際アライアンス (GACD国際協調公募) に採択。

賞罰

アジア太平洋消化器病週間 (APDW) では、研究代表者の山岡が、「ピロリ菌の除菌治療に関して革命的な提案」を行った研究者としてアジア太平洋地域最大の消化器病関連学会における最高賞であるマーシャル・ワレン賞を受賞 (国内4名目) (2023年12月7日)。さらに、韓日ヘリコバクターシンポジウム (韓国開催) にて、2019年、2022年にそれぞれベトナム人 (Vo Phuoc Tuan) モンゴル人 (Ayush Khangai) が若手研究者賞 (YIA) を受賞。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計183件（うち査読付論文 174件 / うち国際共著 145件 / うちオープンアクセス 113件）

1. 著者名 Tungtrongchitr Nuttapat, Bongkotvirawan Phubordee, Ratana-Amornpin Sarita, Siramolpiwat Sith, Eiamsitrakoon Thanee, Gamnarai Pornpen, Wongcha-um Arti, Yamaoka Yoshio, Pawa Kammal Kumar, Vilaichone Ratha-korn	4. 巻 14
2. 論文標題 Fourteen-day vonoprazan-based bismuth quadruple therapy for H. pylori eradication in an area with high clarithromycin and levofloxacin resistance: a prospective randomized study (VQ-HP trial)	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8986
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-024-59621-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Yamaoka Yoshio	4. 巻 38
2. 論文標題 Revolution of Helicobacter pylori treatment	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 1016-1026
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.16526	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Yamaoka Yoshio, Saruuljavkhlan Batsaikhan, Alfaray Ricky Indra, Linz Bodo	4. 巻 444
2. 論文標題 Pathogenomics of Helicobacter pylori	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Curr Top Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 117 ~ 155
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-031-47331-9_5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Khangai Ayush, Saruuljavkhlan Batsaikhan, Azzaya Dashdorj, Gantuya Boldbaatar, Oyuntsetseg Khasag, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Exploring Alternative Treatment Choices for Multidrug-Resistant Clinical Strains of Helicobacter pylori in Mongolia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 2852 ~ 2852
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms11122852	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Smith Stella I., Yamaoka Yoshio	4. 巻 12
2. 論文標題 Antibiotic Resistance and Therapy for Helicobacter pylori Infection	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Antibiotics	6. 最初と最後の頁 1669 ~ 1669
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/antibiotics12121669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thorell Kaisa, Wang Difei, Sandoval-Motta Santiago, Boscolo Agostini Rajiv, Ghirotto Silvia, Torres Roberto C., Romero-Gallo Judith, Krishna Uma, Peek Richard M., Piazuelo M. Blanca, etc., Arita Masanori, Yamaoka Yoshio, Kobayashi Ichizo, Uchiyama Ikuo, Falush Daniel, Camargo M. Constanza, Rabkin Charles S.	4. 巻 14
2. 論文標題 The Helicobacter pylori Genome Project: insights into H. pylori population structure from analysis of a worldwide collection of complete genomes	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 8184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-023-43562-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aumpun Natsuda, Issariyakulkarn Navapan, Mahachai Varocha, Graham David, Yamaoka Yoshio, Vilaichone Ratha-korn	4. 巻 18
2. 論文標題 Management of Helicobacter pylori treatment failures: A large population-based study (HP treatment failures trial)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0294403
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0294403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hong Tzu-Chan, El-Omar Emad M, Kuo Yu-Ting, Wu Jeng-Yih, Chen Mei-Jyh, Chen Chieh-Chang, Fang Yu-Jen, Leow Alex Hwong Ruey, Lu Hong, Lin Jaw-Town, Tu Yu-Kang, Yamaoka Yoshio	4. 巻 9
2. 論文標題 Primary antibiotic resistance of Helicobacter pylori in the Asia-Pacific region between 1990 and 2022: an updated systematic review and meta-analysis	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 The Lancet Gastroenterology & Hepatology	6. 最初と最後の頁 56 ~ 67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/S2468-1253(23)00281-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Saruuljavkhlán Batsaikhan, Alfaray Ricky Indra, Oyuntsetseg Khasag, Gantuya Boldbaatar, Khangai Ayush, Renchinsengee Namsrai, Matsumoto Takashi, Akada Junko, Azzaya Dashdorj, Davaadorj Duger, Yamaoka Yoshio	4. 巻 15
2. 論文標題 Study of Helicobacter pylori Isolated from a High-Gastric-Cancer-Risk Population: Unveiling the Comprehensive Analysis of Virulence-Associated Genes including Secretion Systems, and Genome-Wide Association Study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 4528 ~ 4528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers15184528	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Alfaray Ricky Indra, Saruuljavkhlán Batsaikhan, Fauzia Kartika Afrida, Torres Roberto C., Thorell Kaisa, Dewi Selva Rosyta, Kryukov Kirill A., Matsumoto Takashi, Akada Junko, Vilaichone Ratha-korn, Miftahussurur Muhammad, Yamaoka Yoshio	4. 巻 12
2. 論文標題 Global Antimicrobial Resistance Gene Study of Helicobacter pylori: Comparison of Detection Tools, ARG and Efflux Pump Gene Analysis, Worldwide Epidemiological Distribution, and Information Related to the Antimicrobial-Resistant Phenotype	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Antibiotics	6. 最初と最後の頁 1118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/antibiotics12071118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sharafutdinov Irshad, Tegtmeyer Nicole, Linz Bodo, Rohde Manfred, Vieth Michael, Tay Alfred Chin-Yen, Lamichhane Binit, Tuan Vo Phuoc, Fauzia Kartika Afrida, Sticht Heinrich, Yamaoka Yoshio, Marshall Barry J., Backert Steffen	4. 巻 31
2. 論文標題 A single-nucleotide polymorphism in Helicobacter pylori promotes gastric cancer development	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cell Host and Microbe	6. 最初と最後の頁 1345 ~ 1358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.chom.2023.06.016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fauzia Kartika Afrida, Alfaray Ricky Indra, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Advantages of Whole Genome Sequencing in Mitigating the Helicobacter pylori Antimicrobial Resistance Problem	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 1239 ~ 1239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms11051239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fauzia Kartika Afrida, Aftab Hafeza, Miftahussurur Muhammad, Waskito Langgeng Agung, Tuan Vo Phuoc, Alfaray Ricky Indra, Matsumoto Takashi, Yurugi Michiyuki, Subsomwong Phawinee, Kabamba Evariste Tshibangu, Akada Junko, Yamaoka Yoshio	4. 巻 23
2. 論文標題 Genetic determinants of Biofilm formation of Helicobacter pylori using whole-genome sequencing	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 BMC Microbiology	6. 最初と最後の頁 159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12866-023-02889-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Phuc Bui Hoang, Tuan Vo Phuoc, Binh Tran Thanh, Tung Pham Huu, Tri Tran Dinh, Dung Ho Dang Quy, Thuan Ngo Phuong Minh, Fauzia Kartika Afrida, Tshibangu-Kabamba Evariste, Alfaray Ricky Indra, Saruuljavkhlan Batsaikhan, Matsumoto Takashi, Akada Junko, Yamaoka Yoshio	4. 巻 13
2. 論文標題 Comparative genomics of two Vietnamese Helicobacter pylori strains, CHC155 from a non-cardia gastric cancer patient and VN1291 from a duodenal ulcer patient	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 8869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-023-35527-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nabavi-Rad Ali, Yadegar Abbas, Sadeghi Amir, Aghdaei Hamid Asadzadeh, Zali Mohammad Reza, Klionsky Daniel J., Yamaoka Yoshio	4. 巻 31
2. 論文標題 The interaction between autophagy, Helicobacter pylori, and gut microbiota in gastric carcinogenesis	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Trends in Microbiology	6. 最初と最後の頁 1024 ~ 1043
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tim.2023.04.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hsu Ping-I, Chen Kuan-Yang, Yamaoka Yoshio, Graham David Y., Wu Deng-Chyang	4. 巻 118
2. 論文標題 Hybrid, High-Dose Dual and Bismuth Quadruple Therapies for First-Line Treatment of Helicobacter pylori Infection in Taiwan: A Multicenter, Open-Label, Randomized Trial	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 American Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1184 ~ 1195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14309/ajg.0000000000002255	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Njenga Priscilla, Njau Allan, Moloo Zahir, Revathi Gunturu, Tshibangu Evariste, Yamaoka Yoshio	4. 巻 10
2. 論文標題 Pattern and trends of Helicobacter pylori genotypes in gastric cancer: A Kenyan 8-year study	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Frontiers in Medicine	6. 最初と最後の頁 1119513
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmed.2023.1119513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fauzia Kartika Afrida, Aftab Hafeza, Tshibangu-Kabamba Evariste, Alfaray Ricky Indra, Saruuljavkhlán Batsaikhan, Cimuanga-Mukanya Alain, Matsumoto Takashi, Subsomwong Phawinee, Akada Junko, Miftahussurur Muhammad, Yamaoka Yoshio	4. 巻 12
2. 論文標題 Mutations Related to Antibiotics Resistance in Helicobacter pylori Clinical Isolates from Bangladesh	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Antibiotics	6. 最初と最後の頁 279 ~ 279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/antibiotics12020279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Alfaray Ricky Indra, Fauzia Kartika Afrida, Dewayani Astri, Doohan Dalla, Waskito Langgeng Agung, Rezkiha Yudith Annisa Ayu, Utomo Didik Huswo, Somayana Gde, Fahrial Syam Ari, Lubis Masrul, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 163
2. 論文標題 Low-grade intestinal metaplasia in Indonesia: Insights into the expression of proinflammatory cytokines during Helicobacter pylori infection and unique East-Asian CagA characteristics	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cytokine	6. 最初と最後の頁 156122 ~ 156122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cyto.2022.156122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Amalia Rizki, Panenggak Nur Syahadati Retno, Doohan Dalla, Rezkitha Yudith Annisa Ayu, Waskito Langgeng Agung, Syam Ari Fahrial, Lubis Masrul, Yamaoka Yoshio, Miftahussurur Muhammad	4. 巻 28
2. 論文標題 A comprehensive evaluation of an animal model for Helicobacter pylori associated stomach cancer: Fact and controversy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Helicobacter	6. 最初と最後の頁 e12943
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hel.12943	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Imoto Ichiro, Oka Satoko, Katsurahara Masaki, Nakamura Misaki, Yasuma Taro, Akada Junko, D' Alessandro-Gabazza Corina N., Toda Masaaki, Horiki Noriyuki, Gabazza Esteban C., Yamaoka Yoshio	4. 巻 14
2. 論文標題 Helicobacter pylori infection: is there circulating vacuolating cytotoxin A or cytotoxin-associated gene A protein?	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gut Pathogens	6. 最初と最後の頁 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13099-022-00519-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Thorpe Harry A., Tourrette Elise, Yahara Koji, Vale Filipa F., Liu Siqi, Oleastro Monica, Alarcon Teresa, Perets Tsachi-Tsadok, Latifi-Navid Saeid, Yamaoka Yoshio, Martinez-Gonzalez Beatriz, Karayiannis Ioannis, Karamitros Timokratis, Sgouras Dionyssios N., Agreus Lars, Suerbaum Sebastian, Thorell Kaisa, Falush Daniel	4. 巻 13
2. 論文標題 Repeated out-of-Africa expansions of Helicobacter pylori driven by replacement of deleterious mutations	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 6842
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-022-34475-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Keikha Masoud, Sahebkar Amirhossein, Yamaoka Yoshio, Karbalaeei Mohsen.	4. 巻 41
2. 論文標題 Helicobacter pylori cagA status and gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: a systematic review and meta-analysis.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Health, Population and Nutrition	6. 最初と最後の頁 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41043-021-00280-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Subsomwong Phawinee, Doohan Dalla, Fauzia Kartika Afrida, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Yee Than Than, Htet Kyaw, Waskito Langgeng Agung, Tuan Vo Phuoc, Uchida Tomohisa, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio.	4. 巻 10
2. 論文標題 Next-Generation Sequencing-Based Study of Helicobacter pylori Isolates from Myanmar and Their Susceptibility to Antibiotics.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 196 ~ 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms10010196	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vale Filipa F., Lehours Philippe, Yamaoka Yoshio.	4. 巻 13
2. 論文標題 Editorial: The Role of Mobile Genetic Elements in Bacterial Evolution and Their Adaptability.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Frontiers in Microbiology	6. 最初と最後の頁 849667
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmicb.2022.849667	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 You Yuanhai, Thorell Kaisa, He Lihua, Yahara Koji, Yamaoka Yoshio, Cha Jeong-Heon, Murakami Kazunari, Katsura Yukako, Kobayashi Ichizo, Falush Daniel, Zhang Jianzhong, TEAMHp.	4. 巻 8
2. 論文標題 Genomic differentiation within East Asian Helicobacter pylori.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Microbial Genomics	6. 最初と最後の頁 676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1099/mgen.0.000676	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tegtmeyer Nicole, Linz Bodo, Yamaoka Yoshio, Backert Steffen.	4. 巻 79
2. 論文標題 Unique TLR9 Activation by Helicobacter pylori Depends on the cag T4SS, But Not on VirD2 Relaxases or VirD4 Coupling Proteins.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Current Microbiology	6. 最初と最後の頁 121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00284-022-02813-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Alfaray RI, Saruuljavkhlan B. Ansari S, Fauzia KA, Yamaoka Y.	4. 巻 4
2. 論文標題 Review: Epidemiology of Helicobacter pylori Infection.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Microb Health Dis (European Helicobacter & Microbiota Study Group)	6. 最初と最後の頁 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.26355/mhd_20229_733	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki R, Saitou N, Matsuari O, Shiota S, Matsumoto T, Akada J, Kinjo N, Kinjo F, Teruya K, Shimoji M, Shiroma A, Kato M, Satou K, Hirano T, Asaka M, Kryukov K, Moodley Y, Yamaoka Y.	4. 巻 25
2. 論文標題 Helicobacter pylori genomes reveal Paleolithic human migration to the east end of Asia.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 iScience	6. 最初と最後の頁 104477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.isci.2022.104477	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Waskito LA, Rezkitha YAA, Vilaichone RK, Sugihartono T, Mustika S, Dewa Nyoman Wibawa I, Yamaoka Y, Miftahussurur M.	4. 巻 14
2. 論文標題 The role of non-Helicobacter pylori bacteria in the pathogenesis of gastroduodenal diseases.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Gut Pathog	6. 最初と最後の頁 19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13099-022-00494-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Prakosa AW, Miftahussurur M, Juniastuti J, Waskito LA, Doohan D, Fauzia KA, Rezkitha YAA, Sugihartono T, Syam AF, Uchida T, Yamaoka Y.	4. 巻 40
2. 論文標題 Characterization of Helicobacter pylori tlyA and Its Association with Bacterial Density.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Dig Dis	6. 最初と最後の頁 417-426
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000518538	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ansari S, Yamaoka Y.	4. 巻 35
2. 論文標題 Helicobacter pylori Infection, Its Laboratory Diagnosis, and Antimicrobial Resistance: a Perspective of Clinical Relevance.	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Clin Microbiol Rev	6. 最初と最後の頁 e0025821
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1128/cmr.00258-21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Fauzia, Kartika Afrida, Hafeza Aftab, Evariste Tshibangu-Kabamba, Ricky Indra Alfaray, Batsaikhan Saruuljavkhlán, Alain Cimuanga-Mukanya, Takashi Matsumoto, Phawinee Subsomwong, Junko Akada, Muhammad Miftahussurur, and Yoshio Yamaoka.	4. 巻 12
2. 論文標題 Mutations Related to Antibiotics Resistance in Helicobacter pylori Clinical Isolates from Bangladesh.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Antibiotics	6. 最初と最後の頁 279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/antibiotics12020279	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Njenga P, Njau A, Molloo Z, Revathi G, Tshibangu E, Yamaoka Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Pattern and trends of Helicobacter pylori genotypes in gastric cancer: A Kenyan 8-year study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Front Med (Lausanne)	6. 最初と最後の頁 1119513
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fmed.2023.1119513	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sang Ketut Widiana, Titong Sugihartono, Dalla Doohan, Langgeng Agung Waskito, Kartika Afrida Fauzia, Yudith Annisa Ayu Rezkitha, Adi Wasis Prakosa, Ricky Indra Alfaray, Camilia Metadea Aji Safitri, Rizki Amalia, Yoshio Yamaoka, Muhammad Miftahussurur.	4. 巻 12
2. 論文標題 Novel Helicobacter pylori-associated hemolysis Hp0499 and Hp1490 and its association with severity of gastritis.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 F1000Research	6. 最初と最後の頁 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12688/f1000research.122306.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Alfaray Ricky Indra, Fauzia Kartika Afrida, Dewayani Astri, Doohan Dalla, Waskito Langgeng Agung, Rezkiha Yudith Annisa Ayu, Utomo Didik Huswo, Somayana Gde, Fahrial Syam Ari, Lubis Masrul, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Yamaoka Yoshio.	4. 巻 163
2. 論文標題 Low-grade intestinal metaplasia in Indonesia: Insights into the expression of proinflammatory cytokines during Helicobacter pylori infection and unique East-Asian CagA characteristics.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Cytokine	6. 最初と最後の頁 156122 ~ 156122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cyto.2022.156122	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Subsomwong Phawinee, Doohan Dalla, Fauzia Kartika Afrida, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Yee Than Than, Htet Kyaw, Waskito Langgeng Agung, Tuan Vo Phuoc, Uchida Tomohisa, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 10
2. 論文標題 Next-Generation Sequencing-Based Study of Helicobacter pylori Isolates from Myanmar and Their Susceptibility to Antibiotics	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 196
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms10010196	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Keikha Masoud, Sahebkar Amirhossein, Yamaoka Yoshio, Karbalaeei Mohsen	4. 巻 41
2. 論文標題 Helicobacter pylori cagA status and gastric mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma: a systematic review and meta-analysis	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Health, Population and Nutrition	6. 最初と最後の頁 2-1~2-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s41043-021-00280-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tshibangu-Kabamba Evariste, Yamaoka Yoshio	4. 巻 18
2. 論文標題 Helicobacter pylori infection and antibiotic resistance: from biology to clinical implications	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Reviews Gastroenterology and Hepatology	6. 最初と最後の頁 613 ~ 629
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41575-021-00449-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Saruuljavkhlan Batsaikhan, Yamaoka Yoshio	4. 巻 15
2. 論文標題 Benefits of a Molecular-Based Method for the Detection of Clarithromycin-Resistant Helicobacter pylori	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Gut and Liver	6. 最初と最後の頁 487 ~ 489
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5009/gnl210278	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Doohan Dalla, Rezkitha Yudith Annisa Ayu, Waskito Langgeng Agung, Yamaoka Yoshio, Miftahussurur Muhammad	4. 巻 13
2. 論文標題 Helicobacter pylori BabA/SabA Key Roles in the Adherence Phase: The Synergic Mechanism for Successful Colonization and Disease Development	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Toxins	6. 最初と最後の頁 485-1 ~ 485-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/toxins13070485	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ninomiya Ryo, Kubo Shuichi, Baba Takehiro, Kajiwara Tooru, Tokunaga Akinori, Nabeka Hiroaki, Doihara Takuya, Shimokawa Tetsuya, Matsuda Seiji, Murakami Kazunari, Aigaki Toshiro, Yamaoka Yoshio, Hamada Fumihiko	4. 巻 556
2. 論文標題 Inhibition of low-density lipoprotein uptake by Helicobacter pylori virulence factor CagA	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biochemical and Biophysical Research Communications	6. 最初と最後の頁 192 ~ 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.bbrc.2021.03.170	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kinoshita-Daitoku R, Kiga K, Miyakoshi M, Otsubo R, Ogura Y, Sanada T, Bo Z, Phuoc TV, Okano T, Iida T, Yokomori R, Kuroda E, Hirukawa S, Tanaka M, Sood A, Subsomwong P, Ashida H, Binh TT, Nguyen LT, Van KV, Ho DQD, Nakai K, Suzuki T, Yamaoka Yoshio, Hayashi T, Mimuro Hitomi	4. 巻 12
2. 論文標題 A bacterial small RNA regulates the adaptation of Helicobacter pylori to the host environment	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 2085-1~2085-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-22317-7	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Phuc Bui Hoang, Tuan Vo Phuoc, Dung Ho Dang Quy, Binh Tran Thanh, Tung Pham Huu, Tri Tran Dinh, Thuan Ngo Phuong Minh, Van Khien Vu, Trang Tran Thi Huyen, Akada Junko, Matsumoto Takeshi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Helicobacter pylori type 4 secretion systems as gastroduodenal disease markers	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 4584-1 ~ 4584-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-021-83862-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ono Takaaki, Cruz Modesto, Nagashima Hiroyuki, Subsomwong Phawinee, Akada Junko, Matsumoto Takashi, Uchida Tomohisa, Suzuki Rumiko, Hosking Celso, Abreu Jos? A Jim?nez, Yamaoka Yoshio	4. 巻 26
2. 論文標題 Discovery of unique African Helicobacter pylori CagA-multimerization motif in the Dominican Republic	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 World Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 7118 ~ 7130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v26.i45.7118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ansari Shamshul, Yamaoka Yoshio	4. 巻 21
2. 論文標題 Helicobacter pylori Virulence Factor Cytotoxin-Associated Gene A (CagA)-Mediated Gastric Pathogenicity	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 7430 ~ 7430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21197430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Liou JM, Malfertheiner P, Lee YC, Sheu BS, Sugano K, Cheng HC, Yeoh KG, Hsu PI, Goh KL, Mahachai V, Gotoda T, Chang WL, Chen MJ, Chiang TH, Chen CC, Wu CY, Leow AHR, Wu JY, Wu DC, Hong TC, Lu H, Yamaoka Yoshio, Megraud F, Chan FKL, Sung JJY, Lin JT, Graham DY, Wu MS, El-Omar EM	4. 巻 69
2. 論文標題 Screening and eradication of Helicobacter pylori for gastric cancer prevention: the Taipei global consensus	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Gut	6. 最初と最後の頁 2093 ~ 2112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/gutjnl-2020-322368	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Aumpun Natsuda, Vilaichone Ratha-Korn, Nunanan Pongjarat, Chonprasertsuk Soonthorn, Siramolpiwat Sith, Bhanthumkomol Patommatat, Pornthisarn Bubpha, Uchida Tomohisa, Vilaichone Virunpat, Wongcha-Um Arti, Yamaoka Yoshio, Mahachai Varocha	4. 巻 15
2. 論文標題 Predictors for development of complete and incomplete intestinal metaplasia (IM) associated with H. pylori infection: A large-scale study from low prevalence area of gastric cancer (IM-HP trial)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0239434-1 ~ 10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0239434	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Pratama Putra Bobby, Yamaoka Yoshio	4. 巻 13
2. 論文標題 The Potential Benefits of Vonoprazan as Helicobacter pylori Infection Therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pharmaceuticals	6. 最初と最後の頁 276 ~ 276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ph13100276	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mwangi Catherine, Njoroge Stephen, Tshibangu-Kabamba Evariste, Moloo Zahir, Rajula Allan, Devani Smita, Matsumoto Takashi, Nyerere Kimang 'a, Kariuki Samuel, Revathi Gunturu, Yamaoka Yoshio	4. 巻 12
2. 論文標題 Whole Genome Sequencing Reveals Virulence Potentials of Helicobacter pylori Strain KE21 Isolated from a Kenyan Patient with Gastric Signet Ring Cell Carcinoma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Toxins	6. 最初と最後の頁 556 ~ 556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/toxins12090556	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Doohan Dalla, Syam Ari Fahrial, Nusi Iswan Abbas, Waskito Langgeng Agung, Fauzia Kartika Afrida, Rezkitha Yudith Annisa Ayu, Dewayani Astri, I'tishom Reny, Maulahela Hasan, Uchida Tomohisa, Yamaoka Yoshio	4. 巻 122
2. 論文標題 The validation of the Helicobacter pylori CagA typing by immunohistochemistry: nationwide application in Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Histochemica	6. 最初と最後の頁 151594 ~ 151594
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.acthis.2020.151594	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Azzaya Dashdorj, Gantuya Boldbaatar, Oyuntsetseg Khasag, Davaadorj Duger, Matsumoto Takashi, Akada Junko, Yamaoka Yoshio	4. 巻 8
2. 論文標題 High Antibiotic Resistance of Helicobacter pylori and Its Associated Novel Gene Mutations among the Mongolian Population	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 1062 ~ 1062
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms8071062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ansari Shamshul, Yamaoka Yoshio	4. 巻 18
2. 論文標題 Role of vacuolating cytotoxin A in Helicobacter pylori infection and its impact on gastric pathogenesis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Expert Review of Anti-infective Therapy	6. 最初と最後の頁 987 ~ 996
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14787210.2020.1782739	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Tshibangu-Kabamba Evariste, Ngoma-Kisoko Patrick de Jesus, Tuan Vo Phuoc, Matsumoto Takashi, Akada Junko, Kido Yasutoshi, Tshimpi-Wola Antoine, Tshiamala-Kashala Pascal, Ahuka-Mundeke Steve, Mumba Ngoy Dieudonn?, Disashi-Tumba Ghislain, Yamaoka Yoshio	4. 巻 8
2. 論文標題 Next-Generation Sequencing of the Whole Bacterial Genome for Tracking Molecular Insight into the Broad-Spectrum Antimicrobial Resistance of Helicobacter pylori Clinical Isolates from the Democratic Republic of Congo	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Microorganisms	6. 最初と最後の頁 887 ~ 887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/microorganisms8060887	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vilaichone Ratha-korn, Aumpan Natsuda, Ratanachu-ek Thawee, Uchida Tomohisa, Tshering Lotay, Mahachai Varocha, Yamaoka Yoshio	4. 巻 97
2. 論文標題 Population-based study of Helicobacter pylori infection and antibiotic resistance in Bhutan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Infectious Diseases	6. 最初と最後の頁 102 ~ 107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijid.2020.05.077	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Aumpun Natsuda, Vilaichone Ratha-Korn, Gamnarai Pornpen, Sanglutong Likhasit, Ratanachu-ek Thawee, Mahachai Varocha, Yamaoka Yoshio	4. 巻 21
2. 論文標題 Prevalence and Antibiotic Resistance Patterns of Helicobacter pylori Infection in Koh Kong, Cambodia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	6. 最初と最後の頁 1409 ~ 1413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31557/APJCP.2020.21.5.1409	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Vilaichone Ratha-Korn, Aumpun Natsuda, Ratanachu-ek Thawee, Gamnarai Pornpen, Uchida Tomahisa, Tshering Lotay, Mahachai Varocha, Yamaoka Yoshio	4. 巻 21
2. 論文標題 Efficacy of Omeprazole, Tetracycline, and 4 Times Daily Dosing of Amoxicillin in Helicobacter pylori Eradication in Limited Resource Area in Bhutan: A Prospective Randomized Trial (BHUTAN Study)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	6. 最初と最後の頁 1109 ~ 1114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.31557/APJCP.2020.21.4.1109	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nagashima Hiroyuki, Yamaoka Yoshio	4. 巻 421
2. 論文標題 Importance of Toll-like Receptors in Pro-inflammatory and Anti-inflammatory Responses by Helicobacter pylori Infection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Curr Top Microbiol Immunol	6. 最初と最後の頁 139 ~ 158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-030-15138-6_6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Mitsushige, Yamaoka Yoshio	4. 巻 9
2. 論文標題 Role of Vonoprazan in Helicobacter pylori Eradication Therapy in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 1560-1 ~ 1560-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2018.01560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Byambajav Tsogt-Ochir, Bira Namdag, Choijamts Gotov, Davaadorj Duger, Gantuya Boldbaatar, Sarantuya Tserenchimed, Sarantuya Gidaagaya, Enkhtsetseg Altangerel, Erdenetsogt Dungubat, Battulga Adiyasuren, Tserentogtokh Tegshee, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio, Oyuntsetseg Khasag	4. 巻 10
2. 論文標題 Initial Trials With Susceptibility-Based and Empiric Anti-H. pylori Therapies in Mongolia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 394-1 ~ 394-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2019.00394	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Jeerayuth Auttajaroon, Peranart Chotivitayatarakorn, Yoshio Yamaoka, Ratha-Korn Vilaichone	4. 巻 20
2. 論文標題 CYP2C19 Genotype, CagA Genotype and Antibiotic Resistant Strain of Helicobacter pylori Infection	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Asian Pac J Cancer Prev.	6. 最初と最後の頁 1243-1247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tserentogtokh Tegshee, Gantuya Boldbaatar, Subsomwong Phawinee, Oyuntsetseg Khasag, Bolor Dashdorj, Erdene-Ochir Yansan, Azzaya Dashdorj, Davaadorj Duger, Uchida Tomohisa, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Western-Type Helicobacter pylori CagA are the Most Frequent Type in Mongolian Patients	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancers	6. 最初と最後の頁 725-1 ~ 725-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers11050725	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tuan Vo Phuoc, Narith Dou, Tshibangu-Kabamba Evariste, Dung Ho Dang Quy, Viet Pham Thanh, Sokomoth Sin, Binh Tran Thanh, Sokhem Sok, Tri Tran Dinh, Ngov Seng, Tung Pham Huu, Thuan Ngo Phuong Minh, Truc Tran Cong, Phuc Bui Hoang, Matsumoto Takashi, Fauzia Kartika Afrida, Akada Junko, Trang Tran Thi Huyen, Yamaoka Yoshio	4. 巻 8
2. 論文標題 A Next-Generation Sequencing-Based Approach to Identify Genetic Determinants of Antibiotic Resistance in Cambodian Helicobacter pylori Clinical Isolates	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Clinical Medicine	6. 最初と最後の頁 858-1 ~ 858-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jcm8060858	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Khien Vu Van, Thang Duong Minh, Hai Tran Manh, Duat Nguyen Quang, Khanh Pham Hong, Ha Dang Thuy, Binh Tran Thanh, Dung Ho Dang Quy, Trang Tran Thi Huyen, Yamaoka Yoshio	4. 巻 13
2. 論文標題 Management of Antibiotic-Resistant Helicobacter pylori Infection: Perspectives from Vietnam	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gut and Liver	6. 最初と最後の頁 483 ~ 497
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5009/gnl18137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki Rumiko, Satou Kazuhito, Shiroma Akino, Shimoji Makiko, Teruya Kuniko, Matsumoto Takashi, Akada Junko, Hirano Takashi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Genome-wide mutation analysis of Helicobacter pylori after inoculation to Mongolian gerbils	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gut Pathogens	6. 最初と最後の頁 45-1 ~ 45-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13099-019-0326-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ono Takaaki, Cruz Modesto, Jimenez Abreu Jose A., Nagashima Hiroyuki, Subsomwong Phawinee, Hosking Celso, Shiota Seiji, Suzuki Rumiko, Yamaoka Yoshio	4. 巻 19
2. 論文標題 Comparative study between Helicobacter pylori and host human genetics in the Dominican Republic	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 BMC Evolutionary Biology	6. 最初と最後の頁 197-1 ~ 197-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12862-019-1526-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ansari Shamshul, Yamaoka Yoshio	4. 巻 11
2. 論文標題 Helicobacter pylori Virulence Factors Exploiting Gastric Colonization and its Pathogenicity	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Toxins	6. 最初と最後の頁 677-1 ~ 677-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/toxins11110677	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ansari Shamshul, Akada Junko, Matsuo Yuichi, Shiota Seiji, Kudo Yoko, Okimoto Tadayoshi, Murakami Kazunari, Yamaoka Yoshio	4. 巻 54
2. 論文標題 Epitope peptides of Helicobacter pylori CagA antibodies from sera by whole-peptide mapping	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Gastroenterology	6. 最初と最後の頁 1039 ~ 1051
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01584-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Fauzia Kartika Afrida, Nusi Iswan Abbas, Setiawan Poernomo Boedi, Syam Ari Fahrial, Waskito Langgeng Agung, Doohan Dalla, Ratnasari Neneng, Khomsan Ali, Adnyana I. Ketut, Akada Junko, Yamaoka Yoshio	4. 巻 13
2. 論文標題 E-test versus agar dilution for antibiotic susceptibility testing of Helicobacter pylori: a comparison study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 BMC Research Notes	6. 最初と最後の頁 22-1 ~ 22-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13104-019-4877-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Khasag Oyuntsetseg, Boldbaatar Gantuya, Tegshee Tserentogtoh, Duger Davaadorj, Dashdorj Azzaya, Uchida Tomohisa, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 10
2. 論文標題 The prevalence of Helicobacter pylori infection and other risk factors among Mongolian dyspeptic patients who have a high incidence and mortality rate of gastric cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gut Pathogens	6. 最初と最後の頁 14-1 ~ 14-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13099-018-0240-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Waskito Langgeng Agung, Miftahussurur Muhammad, Lusida Maria Inge, Syam Ari Fahrial, Suzuki Rumiko, Subsomwong Phawinee, Uchida Tomohisa, Hamdan Muhammad, Nasronudin, Yamaoka Yoshio	4. 巻 8
2. 論文標題 Distribution and clinical associations of integrating conjugative elements and cag pathogenicity islands of Helicobacter pylori in Indonesia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 6073-1 ~ 6073-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-018-24406-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Park Jin, Forman David, Waskito Langgeng, Yamaoka Yoshio, Crabtree Jean	4. 巻 10
2. 論文標題 Epidemiology of Helicobacter pylori and CagA-Positive Infections and Global Variations in Gastric Cancer	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Toxins	6. 最初と最後の頁 163-1 ~ 163-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/toxins10040163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Vilaichone RK, Quach DT, Yamaoka Y, Sugano K, Mahachai V	4. 巻 19
2. 論文標題 Prevalence and Pattern of Antibiotic Resistant Strains of Helicobacter Pylori Infection in ASEAN	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Asian Pacific Journal of Cancer Prevention	6. 最初と最後の頁 1411 ~ 1413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.22034/APJCP.2018.19.5.1411	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Kamogawa-Schifter Yumiko, Yamaoka Yoshio, Uchida Tomohisa, Beer Andrea, Tribl Barbara, Scheiger-Hekele Maximilian, Trauner Michael, Dolak Werner	4. 巻 13
2. 論文標題 Prevalence of Helicobacter pylori and its CagA subtypes in gastric cancer and duodenal ulcer at an Austrian tertiary referral center over 25 years	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0197695-1 ~ 11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0197695	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Farzi Nastaran, Yadegar Abbas, Aghdaei Hamid Asadzadeh, Yamaoka Yoshio, Zali Mohammad Reza	4. 巻 60
2. 論文標題 Genetic diversity and functional analysis of oipA gene in association with other virulence factors among Helicobacter pylori isolates from Iranian patients with different gastric diseases	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Infection, Genetics and Evolution	6. 最初と最後の頁 26 ~ 34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.meegid.2018.02.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kabamba Evariste Tshibangu, Tuan Vo Phuoc, Yamaoka Yoshio	4. 巻 60
2. 論文標題 Genetic populations and virulence factors of Helicobacter pylori	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Infection, Genetics and Evolution	6. 最初と最後の頁 109 ~ 116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.meegid.2018.02.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Talebi Bezin Abadi Amin, Yamaoka Yoshio	4. 巻 30
2. 論文標題 Call for shift in Helicobacter pylori treatment	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 European Journal of Gastroenterology & Hepatology	6. 最初と最後の頁 687 ~ 687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MEG.0000000000001096	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ansari Shamshul, Yamaoka Yoshio	4. 巻 7
2. 論文標題 Current understanding and management of Helicobacter pylori infection: an updated appraisal	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 F1000Research	6. 最初と最後の頁 721-1 ~ 721-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12688/f1000research.14149.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamaoka Yoshio	4. 巻 15
2. 論文標題 How to eliminate gastric cancer-related death worldwide?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Reviews Clinical Oncology	6. 最初と最後の頁 407 ~ 408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41571-018-0029-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gantuya Boldbaatar, Bolor Dashdorj, Oyuntsetseg Khasag, Erdene-Ochir Yansan, Sanduijav Ruvjir, Davaadorj Duger, Tserentogtokh Tegshee, Azzaya Dashdorj, Uchida Tomohisa, Matsuhisa Takeshi, Yamaoka Yoshio	4. 巻 23
2. 論文標題 New observations regarding Helicobacter pylori and gastric cancer in Mongolia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Helicobacter	6. 最初と最後の頁 e12491-1~8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hel.12491	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Talebi Bezmin Abadi Amin, Yamaoka Yoshio	4. 巻 14
2. 論文標題 Helicobacter pylori therapy and clinical perspective	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Global Antimicrobial Resistance	6. 最初と最後の頁 111~117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jgar.2018.03.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Waskito Langgeng Agung, Salama Nina R., Yamaoka Yoshio	4. 巻 23
2. 論文標題 Pathogenesis of Helicobacter pylori infection	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Helicobacter	6. 最初と最後の頁 e12516-1~6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/hel.12516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Waskito Langgeng Agung, Yih-Wu Jeng, Yamaoka Yoshio	4. 巻 25
2. 論文標題 The role of integrating conjugative elements in Helicobacter pylori: a review	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Biomedical Science	6. 最初と最後の頁 86-1~86-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s12929-018-0489-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto Mitsushige, Yamaoka Yoshio	4. 巻 9
2. 論文標題 Role of Vonoprazan in Helicobacter pylori Eradication Therapy in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Frontiers in Pharmacology	6. 最初と最後の頁 1560-1 ~ 1560-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fphar.2018.01560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Waskito Langgeng Agung, Syam Ari Fahrial, Nusi Iswan Abbas, Siregar Gontar, Richardo Marselino, Bakry Achmad Fuad, Rezkiha Yudith Annisa Ayu, Wibawa I Dewa Nyoman, Yamaoka Yoshio	4. 巻 Volume 12
2. 論文標題 Alternative eradication regimens for Helicobacter pylori infection in Indonesian regions with high metronidazole and levofloxacin resistance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Infection and Drug Resistance	6. 最初と最後の頁 345 ~ 358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2147/IDR.S187063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Aftab Hafeza, Shrestha Pradeep Krishna, Sharma Rabi Prakash, Subsomwong Phawinee, Waskito Langgeng Agung, Doohan Dalla, Fauzia Kartika Afrida, Yamaoka Yoshio	4. 巻 8
2. 論文標題 Effective therapeutic regimens in two South Asian countries with high resistance to major Helicobacter pylori antibiotics	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Antimicrobial Resistance & Infection Control	6. 最初と最後の頁 40-1 ~ 40-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13756-019-0482-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miftahussurur Muhammad, Cruz Modesto, Doohan Dalla, Subsomwong Phawinee, Abreu Jose Jimenez, Hosking Celso, Waskito Langgeng Agung, Yamaoka Yoshio	4. 巻 14
2. 論文標題 Five alternative Helicobacter pylori antibiotics to counter high levofloxacin and metronidazole resistance in the Dominican Republic	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 PLOS ONE	6. 最初と最後の頁 e0213868-1 ~ 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0213868	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計75件（うち招待講演 46件 / うち国際学会 65件）

1. 発表者名 Fauzia KA, Sugawara Y, Obata, M, Amalia R, Alfaray RI, Metadea C, Akada, J, Matsumoto, T, Miftahussurur M, Yamaoka Y.
2. 発表標題 Outer membrane protein HopF is involved in biofilm formation and virulence in <i>Helicobacter pylori</i>
3. 学会等名 The 19th Korea-Japan <i>H. pylori</i> Joint Symposium, Gut and liver (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Gastric microbiota and <i>H. pylori</i> in an Asian population
3. 学会等名 International Symposium on <i>Helicobacter</i> and Upper Gastrointestinal Disease (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Fauzia, KA, Hafeza A, Tshibangu-Kabamba E, Alfaray RI, Batsaikhan S, Cimuanga-Mukanya A, Matsumoto T, Subsomwong P, Akada J, Miftahussurur M, Yamaoka Y
2. 発表標題 Mutations Related to Antibiotics Resistance in <i>Helicobacter pylori</i> Clinical Isolates from Bangladesh
3. 学会等名 International Symposium on <i>Helicobacter</i> and Upper Gastrointestinal Disease (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Cimuanga-Mukanya A, Tshibangu-Kabamba E, Ngoma-Kisoko PdeJ, Disashi-Tumba G, Matsumoto T, Akada J and Yamaoka Y
2. 発表標題 Amoxicillin resistance in <i>Helicobacter pylori</i> : Identification of new resistance-conferring mutations in the penicillin-binding protein 1A
3. 学会等名 The 19th Korea-Japan <i>H. pylori</i> Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Saruuljavkhlan B, Yamaoka Y
2. 発表標題 Entrococcus Hirae Attenuates chemokine and Induces DNA Damage In Gastric Epithelial Cell
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ricky indra alfary, Yamaoka Y
2. 発表標題 Investigation of Low - Grade Intestinal Metaplasia From Clinical Dyspepsia Patients INA Country With Low-Incidence of Gastric Cancer:From Human to Helicobactor pylori Perspective
3. 学会等名 DDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 H.pylori evolujtion and pathogenesis in Asia
3. 学会等名 HGSC2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori eradication experiences in Bhutan
3. 学会等名 APDW2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Saruuljavkhlan B, Yamaoka Y
2. 発表標題 Comprehensive genomic analysis of helicobacter pylori in highand low gastric cancer risk populations
3. 学会等名 APDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Ricky indra alfary, Yamaoka Y
2. 発表標題 Helicobacter pylori eradication experiences
3. 学会等名 PDW2023 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Ancient human footprints left in Helicobacter pylori.
3. 学会等名 The 11th Asian Pacific Topic Conference in the 108th General Meeting of the Japanese Society of Gastroenterology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fauzia KA, Matsumoto T, Akada J, Yonezawa H, Kamiya S, Yamaoka Y.
2. 発表標題 Biofilm Formation and antibiotic resistance phenotype of Helicobacter pylori clinical isolates.
3. 学会等名 The 18th Japan-Korea H. pylori Joint Symposium, (国際学会)
4. 発表年 2022年

1 . 発表者名 Alfaray RI, Batsaikhan S, Fauzia KA, Akada J, Matsumoto T, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 The impact of mobile genetic elements and toxin-antitoxin system on Helicobacter pylori adaptability and antimicrobial resistance: A wisdom from Japan-South Korea whole-genome sequence collection.
3 . 学会等名 The 18th Japan-Korea H. pylori Joint Symposium, (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Batsaikhan S, Alfaray RI, Matsumoto T, Akada J, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 Identification of the Helicobacter pylori genomic islands in a high gastric cancer region.
3 . 学会等名 The 18th Japan-Korea H. pylori Joint Symposium, (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Yoshio Yamaoka
2 . 発表標題 Helicobacter pylori and host human genetics in the Caribbean countries.
3 . 学会等名 IX INTERNATIONAL SYMPOSIUM OF Helicobacter pylori INFECTION AND GASTRIC CANCER (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Gantuya B, Yoshio Y, Oyuntsetseg K.
2 . 発表標題 Helicobacter pylori isolates from Mongolia describing gastric carcinogenesis and human migration.
3 . 学会等名 2022 The Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Alfaray IR, Saruuljavkhlan B, Fauzia KA, Matsumoto T, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 Global genome study of helicobacter pylori phage opens new paradigm on their worldwide distribution, genetic feature, and impacts on antimicrobial resistance, disease advancement, and achievement for phage-based therapy.
3 . 学会等名 Gut (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Saruuljavkhlan B, Gantuya B, Akada J, Matsumoto T, Alfaray RI, Oyuntsetseg K, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 A novel pathogen enterococcus hirae induced dysbiosis in the stomach and the genomic instability to promote gastric cancer.
3 . 学会等名 Gut (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Rezkittha, Y.A, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 Pro-Inflammatory Cytokine Expression Observed During Helicobacter pylori Infection Revealed the Possibility Reason of Low-Grade Intestinal Metaplasia in Indonesia.
3 . 学会等名 ASEAN Stomach and Microbiota Study Group (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Alfaray RI, Yamaoka Y.
2 . 発表標題 Worldwide Helicobacter pylori Phage Study: Genome Analysis, Epidemiology, Clinical Data, until New Phage-based Medicine Candidate.
3 . 学会等名 The 21st International Workshop on Campylobacter, Helicobacter and Related Organisms (国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 Saruuljavkhlan B, Yamaoka Y.
2. 発表標題 Comprehensive Study of Helicobacter pylori Genomic Islands and Their Correlation to Gastric Diseases, Phylogenetic Pattern.
3. 学会等名 The 21st International Workshop on Campylobacter, Helicobacter and Related Organisms (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kartika Afrida Fauzia, Yamaoka Y.
2. 発表標題 Identification of Flagella and Outer Membrane Protein Genes associated with Biofilm Formation.
3. 学会等名 The 21st International Workshop on Campylobacter, Helicobacter and Related Organisms (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 H. pylori and the pathogenesis of gastric cancer.
3. 学会等名 ASEAN Gastro2022 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kartika Afrida Fauzia, Yuri Sugawara, Mayu Obata, Rizki Amalia, Ricky Indra Alfaray, Camilia Metadea, Junko Akada, Takashi Matsumoto, Muhammad Miftahussurur, Yoshio Yamaoka.
2. 発表標題 Outer membrane protein HopF is involved in biofilm formation and virulence in Helicobacter pylori.
3. 学会等名 The 19th Korea-Japan H. pylori Joint Symposium (国際学会)
4. 発表年 2023年

1 . 発表者名 Yoshio Yamaoka
2 . 発表標題 Microbiome analysis for the diagnosis of H. pylori infection.
3 . 学会等名 International Symposium on Helicobacter and Upper Gastrointestinal Disease (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Yoshio Yamaoka
2 . 発表標題 Gastric microbiota and H. pylori in an Asian population.
3 . 学会等名 International Symposium on Helicobacter and Upper Gastrointestinal Disease (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Fauzia, Kartika Afrida, Hafeza Aftab, Evariste Tshibangu-Kabamba, Ricky Indra Alfaray, Batsaikhan Saruuljavkhlan, Alain Cimuanga-Mukanya, Takashi Matsumoto, Phawinee Subsomwong, Junko Akada, Muhammad Miftahussurur, and Yoshio Yamaoka.
2 . 発表標題 Mutations Related to Antibiotics Resistance in Helicobacter pylori Clinical Isolates from Bangladesh.
3 . 学会等名 International Symposium on Helicobacter and Upper Gastrointestinal Disease (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1 . 発表者名 Cimuanga-Mukanya A, Tshibangu-Kabamba E, Ngoma-Kisoko PdeJ , Disashi-Tumba G, Matsumoto T, Akada J and Yamaoka Y.
2 . 発表標題 Amoxicillin resistance in Helicobacter pylori: Identification of new resistance-conferring mutations in the penicillin-binding protein 1A.
3 . 学会等名 The 19th Korea-Japan H. pylori Joint Symposium (国際学会)
4 . 発表年 2023年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Molecular epidemiological studies of Helicobacter pylori infection
3. 学会等名 Mongolian Digestive Disease Week 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Impact of Helicobacter pylori eradication on human health
3. 学会等名 Asian Pacific Digestive Week 2021 (APDW2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Bui Hoang Phuc, Vo Phuoc Tuan, Ho Dang Quy Dung, Tran Thanh Binh, Pham Huu Tung, Tran Dinh Tri, Ngo Phuong Minh Thuan, Vu Van Khien, Tran Thi Huyen Trang, Junko Akada, Takeshi Matsumoto, and Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter's type 4 secretion systems as a gastroduodenal diseases marker
3. 学会等名 European Helicobacter and Microbiome Study Group annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Afrida Fauzia, Hafeza Aftab, Muhammad Miftahussurur, Langgeng Agung Waskito, Vo Phuoc Tuan, Takashi Matsumoto, Michiyuki Yurugi, Evariste Tshibangu Kabamba, Junko Akada, Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Potential role of single nucleotide polymorphism of gluP and cgt genes in H. pylori biofilm formation
3. 学会等名 European Helicobacter and Microbiome Study Group annual meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori infection and gastric microbiota
3. 学会等名 International conference “Translational and Clinical Research Development in Mongolia” for the 60th anniversary of the Institute of Medical Sciences (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 H. pylori and clinical correlation (gastric and extra-gastric diseases)
3. 学会等名 ASEAN Stomach and Microbiota Study Group Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Atrophic gastritis and other chronic inflammation and gastric carcinogenesis
3. 学会等名 5th Korea Digestive Disease Week (KDDW 2021) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Importance of Helicobacter pylori eradication on human health
3. 学会等名 7th China-Japan GI exchange forum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 The virulence factor of H. pylori in gastric cancer
3. 学会等名 27th Scientific Conference of Vietnam Association of Gastroenterology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 The Japan-Africa Collaborative Research on Helicobacter pylori project
3. 学会等名 KEMRI Annual Scientific and Health Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Evariste Tshibangu Kabamba., Takashi Matsumoto, Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Mechanistic insights of metronidazole resistance revealed by Next-Generation Sequencing of whole genome of Helicobacter pylori clinical isolates from the Democratic Republic of Congo
3. 学会等名 KEMRI Annual Scientific and Health Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Molecular epidemiological studies of Helicobacter pylori infection
3. 学会等名 Mongolian Digestive Disease Week 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Gastric microbiota and gastroduodenal disease
3. 学会等名 Continuing Medical Education XXXV Internal Medicine 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori infection and gastric microbiota
3. 学会等名 The 6th International Symposium on probiotics and prebiotics (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 H. pylori Infection Surveillance Across Asia
3. 学会等名 International Workshop Series of Gastroenterology Research Opportunities in Antimicrobial Resistance, Metagenomic, Clinical Surveillance and Web-Lab Experiment (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kartika Afrida Fauzia, Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Biofilm Formation: What and How to Examine?
3. 学会等名 International Workshop Series of Gastroenterology Research Opportunities in Antimicrobial Resistance, Metagenomic, Clinical Surveillance and Web-Lab Experiment (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kartika Afrida Fauzia, Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Development of a Helicobacter pylori East Asian-type CagA Immunochromatography Assay for Rapid Detection of Antibody in Serum
3. 学会等名 Korea-Japan Helicobacter research symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Molecular epidemiological studies of Helicobacter pylori infection
3. 学会等名 Current Advances in gastroenterology and Hepatology 2021 Mongolia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 The Japan-Africa collaborative research on Helicobacter pylori project
3. 学会等名 4th South Africa-Japan University Forum Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Current knowledge of genomics for H. pylori from Far East
3. 学会等名 XXXII nd International Workshop on Helicobacter & Microbiota in Inflammation & Cancer (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	Tshibangu Evariste, Tuan VP, Patrick Ngoma, Pascal Tshiamala, Antoine Tshimpi, Matsumoto T, Akada J, Kido Y, Ahuka-Mundeke Steve, Mumba-Ngoyi Dieudonne, Dishashi Tumba, Yamaoka Y
2. 発表標題	Mechanistic insights of metronidazole resistance revealed by next-generation sequencing of Helicobacter pylori from Democratic Republic of Congo
3. 学会等名	The 10th International Congress on Infectious Diseases (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Yoshio Yamaoka
2. 発表標題	Evaluating genomic susceptibility for gastric cancer
3. 学会等名	Asian Pacific Digestive Week (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Yoshio Yamaoka
2. 発表標題	The Japan-Africa Collaborative Research on Helicobacter pylori Project
3. 学会等名	10th Kenya Medical Research Institute Annual Scientific and Health Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2020年

1. 発表者名	Yoshio Yamaoka
2. 発表標題	H. pylori-related pathogenesis of diffuse-type gastric cancer
3. 学会等名	The 2nd Seoul international Symposium on Helicobacter (招待講演) (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori eradication and Gastric cancer prevention
3. 学会等名 The 2018 International Forum of Helicobacter pylori, Gastrointestinal Microbiota and the Associated diseases (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Updated information about the pathogenesis of Helicobacter pylori infection
3. 学会等名 The 8th Shanghai International Conference of Gastroenterology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori: Challenging the present and future
3. 学会等名 Makassar Gastroenterology Hepatology Update 2018 (MAGEHAP2018) & Gastroenterology-Hepatology Update; Surabaya-Denpasar - Malang-Makassar 14 (SUDEMMA14) Joint conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Helicobacter pylori virulence and gastric cancer pathogenesis: current knowledge
3. 学会等名 The 27th Annual Meeting of the Korean College of Helicobacter and Upper Gastrointestinal Research and the 16th Japan-Korea Joint Symposium on Helicobacter Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Vo Phuoc Tuan, Kouji Yahara, Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 A potential biomarker panel to distinguish gastric cancer from duodenal ulcer: results from GWAS in East Asian-type <i>Helicobacter pylori</i>
3. 学会等名 The 27th Annual Meeting of the Korean College of Helicobacter and Upper Gastrointestinal Research and the 16th Japan-Korea Joint Symposium on Helicobacter Research (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yoshio Yamaoka
2. 発表標題 Gastritis: Past, current and future treatment
3. 学会等名 World Class Professor Program in Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 山岡 吉生、榊 信廣 (編集)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本医事新報社	5. 総ページ数 244
3. 書名 ピロリ除菌治療パーフェクトガイド【電子版付】	

1. 著者名 三木 一正 (編集) 山岡 吉生 (分担)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 南山堂	5. 総ページ数 234
3. 書名 胃がんリスク層別化検診 (ABC検診)	

1. 著者名 Vo Phuoc Tuan, Boldbaatar Gantuya, Takashi Matsumoto and Yoshio Yamaoka	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Caister Academic Press	5. 総ページ数 24
3. 書名 Microbiota: Current Research and Emerging Trends	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>大分大学医学部環境・予防医学講座 https://oitadepm.com/ 大分大学 SATREPS https://satreps-oitauniv.com/ 大分大学医学部環境・予防医学講座 http://www.med.oita-u.ac.jp/phealth2/index.html 大分大学グローバル感染症研究大分大学 https://www.oita-glocal.jp/ 大分大学医学部環境・予防医学講座 http://www.med.oita-u.ac.jp/phealth2/index.html 大分大学国際教育研究推進機構 http://in-gear.med.oita-u.ac.jp 大分大学医学部環境・予防医学 http://www.med.oita-u.ac.jp/phealth2/index.html 大分大学国際教育研究推進機構 http://in-gear.med.oita-u.ac.jp/ 大分大学医学部環境・予防医学 http://www.med.oita-u.ac.jp/phealth2/index.html 大分大学国際教育研究推進機構 http://in-gear.med.oita-u.ac.jp/</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松本 昂 (Matsumoto Takashi) (50609667)	大分大学・医学部・特任助教 (17501)	
研究分担者	矢原 耕史 (Yahara Koji) (70542356)	国立感染症研究所・薬剤耐性研究センター・主任研究官 (82603)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------

ブータン	ケサル・ギャルポ医科大学	ジグメ・ドルジ・ワンチュク 国立総合病院	保健省 王立疾病 管理センター	
ベトナム	108病院	チョーライ病院	ハノイ医科大学	他3機関
モンゴル	モンゴル国立医科学大学	ウランバートル第3病院	モンゴル国立がん研究所	他5機関
米国	ベイラー医科大学	ヒューストン大学ガルベストーン校		
インド	ワルダ大学			
コンゴ共和国	キンシャサ大学			